



夢に向かって

“大好き”という気持ちを忘れずに――

八巻 ^{なな}南菜 さん (県北中3年)

第26回

私の将来の夢は、トリマー^{あいがん}か愛玩動物看護師になることです。祖母が犬を飼っていたことがきっかけで、犬や猫が大好きになりました。あるテレビ番組で犬猫が毎年、たくさん殺処分されていることを知って、助けたいという気持ちと、1匹でも多く新しい飼い主と出会えるための仕事がしたいと思うようになったからです。

今は、受験勉強の合間に、犬の行動に関する本を読んでいます。少しでも犬の気持ちが分かるように読んでいます。猫やうさぎの本もあるので、全部読みたいと思います。

将来の夢が理系の分野なので、理系の学科がある高校を目指しています。そのために数学と英語、理科に力を入れて勉強しています。集中すると、時間を忘れて没頭してしまうので、時間を決めてメリハリのある生活を心がけています。

夢がかなったら、動物が大好きという気持ちを忘れずに、笑顔で楽しく仕事がしたいです。保護された動物は、人間に対して臆病になっているので、優しい心で接したいです。そして、少しでも殺処分がなくなればいいなと思います。

大人になったら、責任感のある人になりたいです。中学2年生から生徒会役員ですが、今年から役員が2名減って、「自分がやらない」という気持ちが強くなりました。大人になっても、この気持ちを大切に、自分で決めたことは最後までやり遂げられるよう努力していきたいです。



編集発行

国見町



〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目2-1-7
TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181
E-mail: sometown.kumini.fukushima.jp URL: www.town.kumini.fukushima.jp



町長コラム

ま 真こらむ

【第35回】

刹那と永遠

徳江昇さんが代表を務める写団「北斗」と県内外の写真愛好者の合同写真展。

「北斗」の作品たちは、四季折々の鎌倉。国ごとに異なる音や言葉、太陽の光の強弱を感じさせる東欧、西欧、中東。須賀川・牡丹園の紅葉。猪苗代の霧氷と桜。そして里山の秋の溪流、川面や湖面に浮かぶ桜の花びら…。

また、県内外の写真愛好者たちの作品は、自然や人、鳥などを被写体に、思いもよらない発想にハッとさせられたり、「どうしたらこんな写真が撮れるの?」と足が止まったり、幻想的だったり、軽妙だったり、思索的だったりときまざま。

誰かにお願いされたわけではない、写す人の自由さと感性、人間性がはっきりと印画紙に焼き付けられている。シャッターを押す決断をしたときの彼らの気持ちに同調したとき、感動と感嘆が生まれるのかも。

徳江さんの作品は、カメラのレンズ越しに、誰にも止められない、二度と戻せない時の流れの刹那を切り取り、永遠にしようと奮闘している気がした。そして何より、苔むす岩と清流、滝、紅葉、花筏は、しっとりした趣き、日本の湿度、木々の匂い、自然の音を感じた。写真は詳しくないし、全くわからないけれど、作品からこういったことを感じたのは初めて。

作品を巡っていると、会場のあちらこちらで作品を前に談笑したり、作品の説明を熱心に聞いたりしている人たちの輪ができています。それを聞いていないふりして、実は耳をダンボにして聞いたりして、「へえ、そうなの? なるほどね」と思う、非日常のひとつときでした。



引地 真